

平成 30 年度第 1 回三田市多世代交流館運営委員会議事録

日 時：平成 30 年 6 月 28 日（木）16:00～17:00

場 所：三田市多世代交流館 会議室

出席者：田中亨胤 岐阜聖徳学園大学教授（兵庫教育大学名誉教授）、吉田和美・矢野久美子（子育て交流ひろば登録ボランティア代表）、上中和江・滝幸子（シニア・ユースひろば登録ボランティア代表）、足立郁子・勝本淳弘・米田華奈子（市民委員）、中島啓子 地域子育て支援センター代表、小前琢哉 三田市社会福祉協議会代表、事務局：奥毅吾三田市健康福祉部こども室長、横溝裕香子三田市健康福祉部こども室健やか育成課長、大崎剛（三田市多世代交流館長）、宮成千春（三田市社会福祉協議会総務課多世代交流係長）、西本三登志（三田市多世代交流館長代理）、長野薫・中岡宣子（三田市多世代交流館子育て交流ひろば子育て支援コーディネーター）

傍聴者：なし

開会（司会：横溝課長）

1 奥室長挨拶

2 議事（議長：田中亨胤委員長）

発 言 者	内 容
横溝課長	<p>本年度は、改選の年度ではないので委員の改選はなし。三田市社会福祉協議会からの選出委員であった上田委員の人事異動により、小前委員に交替しました。</p> <p>三田市多世代交流館運営委員会設置要綱第 6 条第 3 項により委員の過半数出席で会の成立を確認します。</p> <p>昨年度選任され委員会は 2 年 1 期の任期、田中委員長、中島副委員長となり、田中委員長に議長をお願いします。</p>
田中委員長	<p>こんにちは。今日は蒸し暑く外歩きはつらいものがありますが、ここは涼しくて気持ちよく議事進行ができますね。</p> <p>次第にそって、平成29年度事業実施報告・利用状況と各ひろばの実施事業報告事項を含めた、説明、審議をお願いします。</p>
大崎館長	<p>《平成29年度事業実施報告》</p> <ul style="list-style-type: none">・昨年度8月と2月に平成29年度の事業実施報告をいたしておりますので、それ以降の状況と平成29年度のまとめの報告をさせていただきます。 <p>《全館の利用状況》</p> <ul style="list-style-type: none">・全館的に平成 29 年度の多世代交流館利用者数は減少傾向にあります。子育て交流ひろばでは、月々にわたり同じように減少しており、在宅での子育て世帯の減少や認定こども園などへの入園などが要因であると思われます。シニア・ユースひろばでは小

	<p>学生の利用が減少傾向にあり、子育て情報ひろばは、情報提供をしている。利用者のカウントの仕方を見直したところであるので、数値に変化がみられる。</p> <p><平成 29 年度子育て交流ひろば実施事業報告></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て交流ひろば実施事業（定期プログラムや講座、催し）は、事業の前に声をかけるなどの周知をしたことによって、参加者が多くなった。子育て相談については、職員が声掛けをし、保護者の困り感などを聞いた。内容は、育児相談が多かった。 ・子育てグループ支援は、11 グループが登録している。多胎児のグループについては、現在グループとしての登録はないが、再結成に向けて館事業として援助している。 <p><平成 29 年度シニア・ユースひろば実施事業報告></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期プログラムを開催しているが、利用者が企画、開催した「ピタゴラスイッチふうドミノ大会」「多世代ふれあい卓球大会」「みんなでたのしく！ババぬき最弱王決定戦」は、人気のあるプログラムとなった。 ・夏休みには、フラットチャレンジ、だれでも参加できる事業の企画・参加事業を行った。 <p><平成 29 年度子育て情報ひろば実施報告></p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報活動では、SUNだっこメールの配信や子育てハンドブックの作成、子育て支援のネットワークづくり、今年はチャットポット実証事業にも取り組み本格実施に向け進めていく。 ・市内3か所の子育て支援拠点「駅前子育て交流ひろば」、「駒ヶ谷運動公園子育て交流ひろば」、地域子育て支援センター「みな・とっちひろば」への運営・活動支援や、「さんだ子育てフォーラム」の開催をした。
田中委員長	プログラムの内容とその質の高さがある。そこに問題があれば対応する必要がありますが、そうではないようです。ここまでのところで何か質問はありますか。
西本館長代理	子育て情報ひろばの利用者数の推移ですが、来館された方をすべてカウントしていましたが、平成 29 年度は、情報を収集に来られた方のみをカウントするようにしました。その結果減少していると思われます。また、SUNだっこメールやホームページなどでも情報の発信をしています。
田中委員長	情報ツールの利用もあるので、市民の動線に近づいている。ホームページなどアクセスされた数をカウントされていますか。
西本館長代理	カウント数につきましては、調べていませんが、SUNだっこメールについてはわかり

	<p>ます。</p>
田中委員長	<p>今は、直接出向いて調べるよりも情報ツールを使って調べることのほうが多いですね。情報ツールによる収集の数以外の321人という数値は、妥当なものかと思われます。続きまして、協議事項 平成30年度事業計画についてお願いします。</p>
大崎館長	<p>平成30年度の事業計画につきましては、昨年2月に開催した平成29年度第2回運営委員会において承認していただいた通りです。 新しい事業として子育てに関する情報発信についてチャットポット実証事業に取り組み、本格実施に向けて取り組んでいる。</p>
田中委員長	<p>大体イメージができていると思います。試しに皆さん方もアクセスしてみてください。 8月になると三田市のホームページに載ると思います。いろいろな意見をいただくとより良いものになると思いますので、ぜひ、登録をしてください。</p>
西本館長代理	<p>平成30年度の事業計画、講座、催しについて、各担当から説明させていただきます。</p>
大崎館長 長野担当	<p>子育て交流ひろばの定期プログラムについては、職員が実施しています。ベビーサロンについては、楽しみにしている方も多く、月に1回または、2回実施することにした。ベビーサロンでは、今年も救急救命の看護師さん、言語聴覚士さんにも来ていただく計画をしている。すくすく子育て相談では、ニーズの多かった内容を実施する予定にしている。 講座、催しについては、ボランティアさんが親対象などいろいろなことを考えて実施してくださっている。8月には、小学生防災クッキングを計画している。子どもたちと一緒にワークショップを交えたクッキングです。人気イベントの「ゆずります」も皆さん楽しみにしておられます。</p>
宮成係長	<p>シニア・ユースひろばでは、定期事業（あそびのサロン・多世代コーラス・café de ふらっと）と季節事業については、今年度から市内小学校保護者向け利用案内を配布し、ぱれっと（市内の中・高・大学生向け）を配布し、利用に向けての広報をしている。ふらっとチャレンジなどボランティアさんとの交流をし、企画参加事業では、来館者からの持ち込み企画として、ユニークな企画がある。企画があれば協力していきたい。ふらっとサロンでは、来館者が聞きたい企画を実施する。</p>
田中委員長	<p>追加資料があります。この資料は、何でしょうか。 三田市多世代交流館条例第3条第2項の項目について平成30年度の重点取組方針・重点事業を示したものです。</p>

大崎館長

今後の運営について示したものと、皆さん目を通しておいてください。
よろしいでしょうか。その他の追加資料についてよろしいでしょうか。

田中委員長

追加資料について説明をさせていただきます。

多世代交流館としまして、多くのボランティアさんに協力いただき運営ができています。
その活動人数を平成 27 年度から表にしました。

西本館長代理

また、利用者数を 30 年度 5 月分まであげている。5 月には幾分利用者が増える傾向にあります。

次にアンケートの報告をいたします。昨年 2 月に中間報告をいたしましたが、まとめの報告をいたします。

《平成29年度子育て交流ひろばアンケート調査報告》

- ・回答者は、母が多く、父、祖父母の回答が見受けられた。
- ・子どもの年齢は、4 歳までの低年齢の子どもが全体の 88% を占めている。
- ・利用者の住まいは、本館近隣の地域からが多く、車で来館し、2 時間程度滞在されている。
- ・アンパンマン体操の時間（午前 11 時 30 分・午後 3 時）が利用者が多い。
- ・利用の目的は、子どもを遊ばせるための最も多く、子どもを集団になじませるためと目的をもって利用される方が多い。
- ・週 1 回から 2 回、月 1 回から 3 回程度の利用者が多い。
- ・友人や知人、家族からの紹介で来館する方が多い。ホームページやパンフレット、広報などの媒体が知るきっかけとなった人も増加している。
- ・ご意見もいただいているので、要望にも応えていきたい。

《平成 29 年度シニア・ユースひろばアンケート調査報告》

- ・初めてシニア・ユースひろばでの利用者アンケートを実施した。
- ・利用者は、学生と高齢者の男性が最も多く、中間層は、女性が多い。フラワーからの利用が多く、自転車や徒歩で来館されている。夕方になれば学生の利用も多くなる。
- ・週 1 回、2 時間から 3 時間の利用が多く、友人・知人、仲間からの紹介がきっかけとなった方が多い。
- ・趣味の場としての利用が多く、共通の趣味の人と交流できることが重視されている。
- ・両方のひろばにおいて、満足度が高く、市民に喜ばれている施設であることが伺える結果であった。

アンケートについては、自由記述の意見にドキッと、インパクトがある。大きな流れ

田中委員長	<p>の中では、影響を受けるものではなく、傾聴に値すると理解する必要がある。今日も館内を見てきましたが、その印象は、この数値に表れていると思います。</p>
田中委員長	<p>追加資料、配布資料を確認してください。 「はぐくみ」について説明をお願いします。</p>
宮成係長	<p>「はぐくみ」は、三田市社会福祉協議会が三田市から委託を受けて行っているファミリーサポートセンターの広報誌です。活動紹介やサブリーダーだよりを掲載しています。</p>
田中委員長	<p>記載されている内容の中で引用しているものがあれば情報提供について、出典を明記することが大切です。 思わず手に取ってもらえることが情報を提供する側にとって大切なことである。手に取ってもらい、そのあと開いてもらうことが大切。心地よい用紙の質やインクの色を工夫し、開いてもらう、情報に入って行けるよう、心地よい紙媒体がよいと思います。</p>
西本館長代理	<p>「さんだ子育てハンドブック」について説明をさせていただきます。 従来の内容に加えて、各所に二次元バーコードを入れました。情報にアクセスしやすいようにした。また、マチイロのアプリに入れ、広報紙などの三田市の情報が入手できるようになりました。</p>
田中委員長	<p>これで委員会を終了します。</p>

閉会

- 1 奥室長挨拶
- 2 次回（第2回）は、2月下旬に開催する予定。